

平成 2 3 年 度

徳島県公立高等学校入学学力検査（一般選抜）の成績結果の概要

本年度の徳島県公立高等学校入学学力検査（一般選抜）は、国語、数学、社会、理科、英語の5教科について実施した。

配点は、各教科100点満点で、学力検査の総点は、500点満点である。

問題作成に当たっては、中学校学習指導要領に示された範囲内で、平常の学習によって養われた力で解答できる問題となるように配慮した。

基礎的・基本的な知識・技能の定着や、思考力、判断力、表現力等をみることができる問題を出題した。また、選択肢形式の問題と記述形式の問題とのバランスを考慮し、文章記述の問題も加えた。教科によっては、選択問題も出題した。

5教科総合の平均点は、100点満点に換算して、55.1点であり、昨年度より3.2点高く、過去5か年の平均点より0.9点低かった。なお、成績集計の結果は、別表のとおりである。

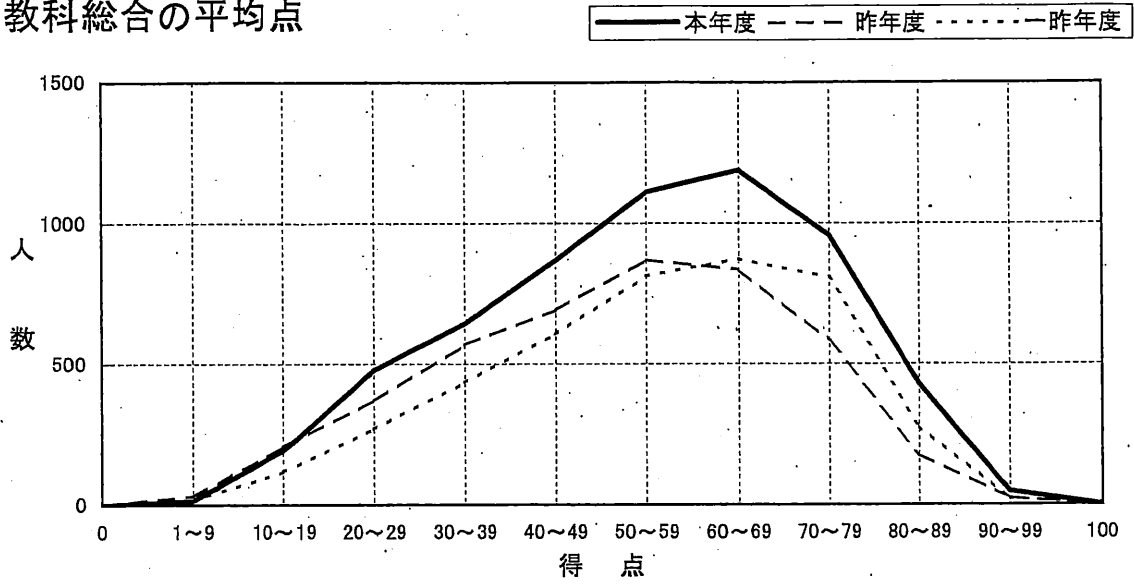
平成23年度
徳島県公立高等学校入学学力検査(一般選抜)成績表

受検者総数 5939名

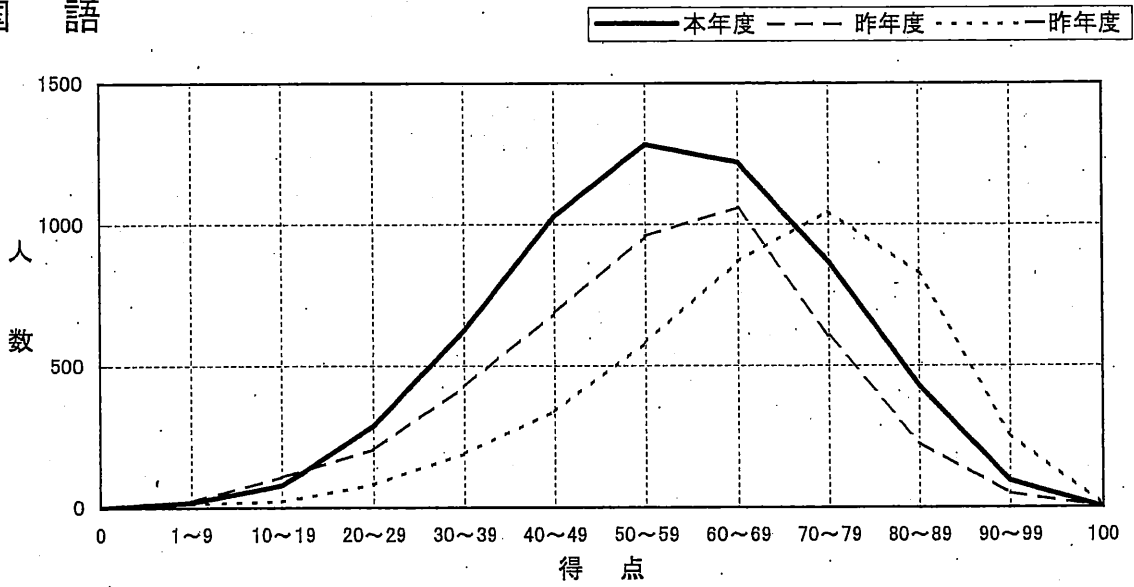
年度 教科	平成23年度		平成22年度		平成22 年度の 平均点 と比較	過去5 か年の 平均点	過去5 か年の 平均点 と比較
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			
国語	56.4	17.3	55.5	17.2	+ 0.9	63.1	- 6.7
数学	47.7	21.0	53.2	20.9	- 5.5	50.4	- 2.7
社会	59.6	20.8	50.8	21.5	+ 8.8	56.4	+ 3.2
理科	55.5	22.0	53.6	20.4	+ 1.9	57.5	- 2.0
英語	56.2	22.6	46.3	23.6	+ 9.9	52.4	+ 3.8
5教科総合	55.1	18.8	51.9	18.6	+ 3.2	56.0	- 0.9

年度 教科	平均点					
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
国語	69.0	62.7	61.3	67.1	55.5	56.4
数学	50.7	49.7	50.0	48.5	53.2	47.7
社会	60.6	60.3	55.3	55.2	50.8	59.6
理科	64.1	50.1	60.4	59.2	53.6	55.5
英語	56.7	56.7	51.2	51.2	46.3	56.2
5教科総合	60.2	55.9	55.7	56.2	51.9	55.1

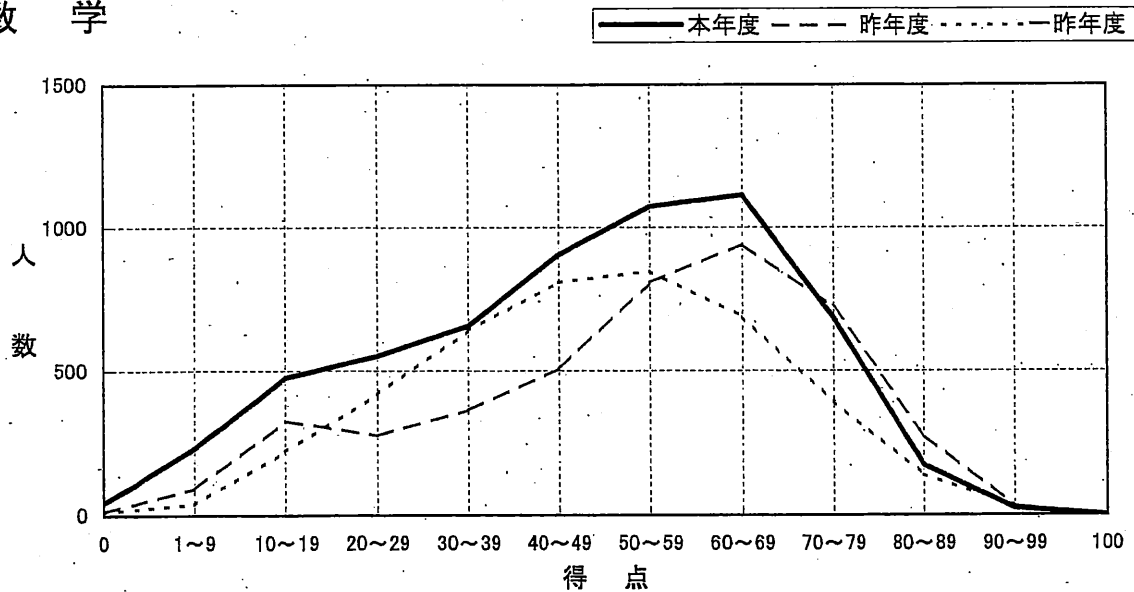
5教科総合の平均点



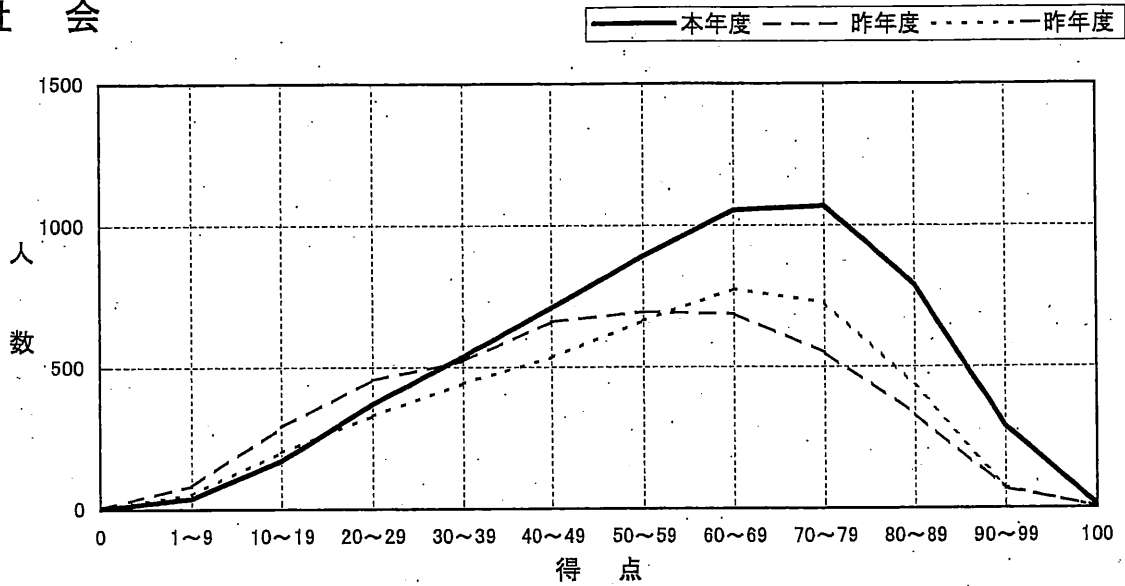
国語



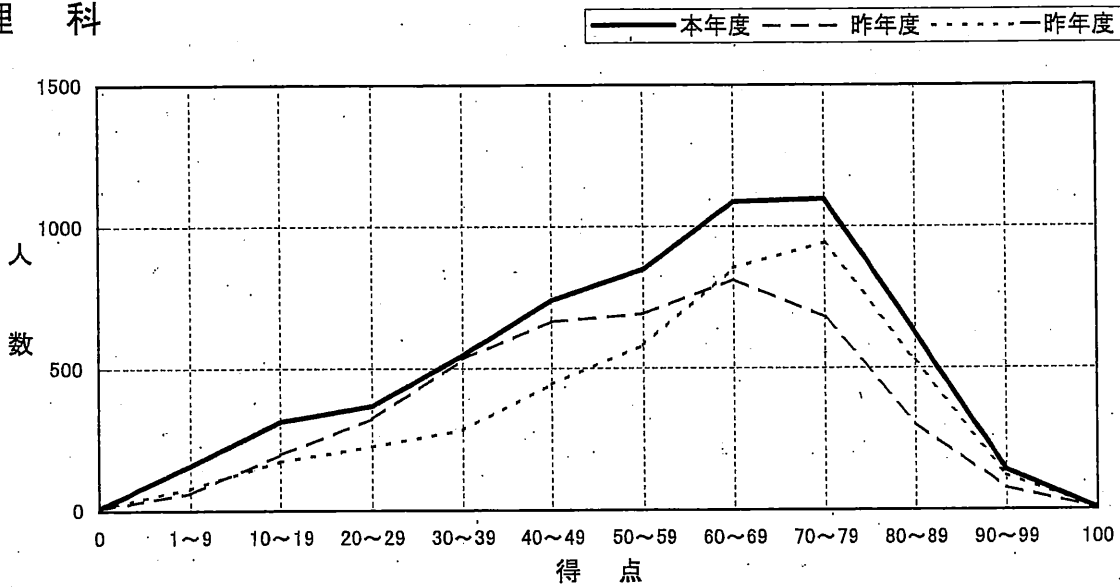
数学



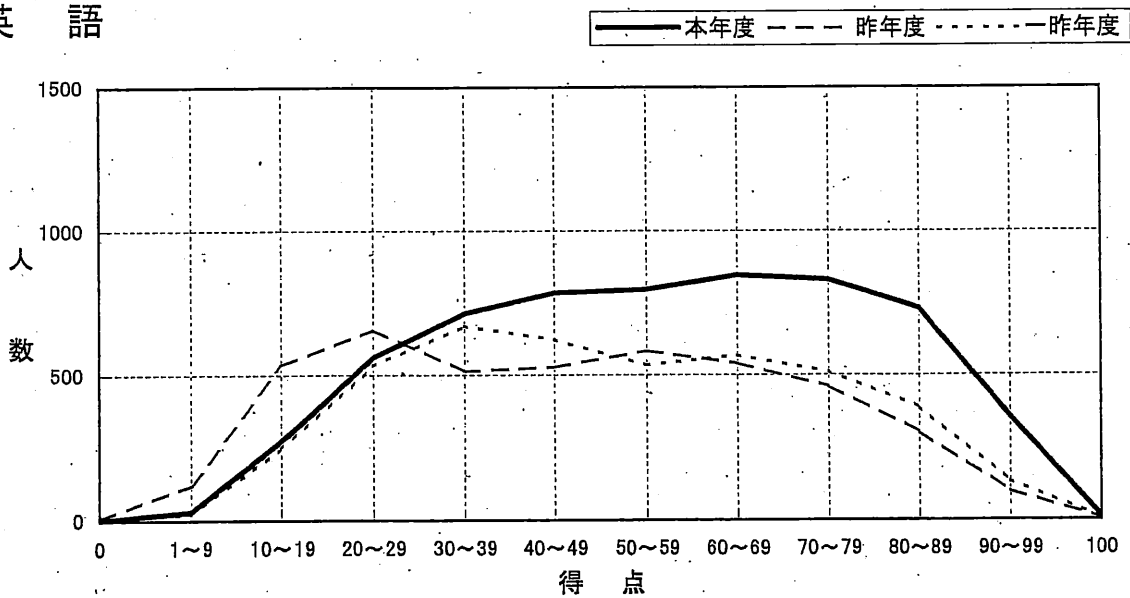
社会



理科



英語



平成23年度 徳島県公立高等学校入学学力検査(一般選抜)各教科の概要

教科	概 要
国語	<p>平均点は56.4点で、過去5か年の平均点に比べて6.7点低く、昨年より0.9点高い点数であった。</p> <p>漢字の読み書き、行書、歴史的かなづかいなどの言語事項については、おおむね良好な結果となっている。一方、説明的文章、文学的文章において、本文の内容を的確に読み取り、35字や50字以内での要約を必要とする記述問題については、昨年と同様、正答率が低く無答率も高かった。また、古文では、動作の主語を問う問題や登場人物の考え方を読み取る問題の正答率がやや低かった。</p>
数学	<p>平均点は47.7点で、過去5か年の平均点に比べて2.7点低く、昨年より5.5点低い点数であった。</p> <p>計算問題、平面図形の性質などの基本的事項の理解力をみる問題はおおむね良好な結果となっている。しかし、一つの問いに対し二つの内容を問う問題や、割合の問題、文章や図の読解を通して、必要な情報を読み取りそれらを理解し活用する問題、言葉や式による表現力をみる問題は、正答率が低かった。二次方程式の解の公式など、学習指導要領の改訂で追加された内容の問題も、やや正答率が低かった。</p>
社会	<p>平均点は59.6点で、過去5か年の平均点に比べて3.2点高く、昨年より8.8点高い点数であった。</p> <p>「太平洋ベルト」、「平和主義」など教科書の重要語句や、「ポルトガル」など授業中に聞き慣れた語句を答える問題は、良好な結果となっている。しかし、地図やグラフなどを見て、関連する様々な知識を活用し判断する問題や、郷土史に関する問題、また、律令制や国会に関する正誤判断の問題、直接請求権に関する計算を含んだ問題などは、正答率が低かった。</p>
理科	<p>平均点は55.5点で、過去5か年の平均点に比べて2.0点低く、昨年より1.9点高い点数であった。</p> <p>前線の名称や化石の名称、電気分解において水に水酸化ナトリウムを入れる理由を問う問題など、基礎的・基本的な知識・技能の定着をみる問題は、良好な結果となっている。また、学習指導要領の改訂で追加された内容であるメンデルの遺伝に関する問題においても、良好な結果となっている。しかし、実験データなど複数の資料から必要な情報を取り出し、数値処理して答えを導く問題などでは、正答率が低かった。</p>
英語	<p>平均点は56.2点で、過去5か年の平均点に比べて3.8点高く、昨年より9.9点高かった。</p> <p>基本的なリスニング問題、対話を完成させる問題や英作文の並べかえ問題では、正答率が高かった。しかし、英文の内容を把握して答える問題や、長めの英文で答える英問英答問題、少し長めの英語を記入して英文の要約を完成させる問題など、英語の文章で表現する力をみる問題では、正答率が低かった。長文問題においては、本文の内容が、受検生にとって追体験がしやすいものであり、昨年よりも無答率は減った。</p>

平成 2 3 年 度

徳島県公立高等学校入学学力検査（特色選抜）の成績結果の概要

本年度の徳島県公立高等学校入学学力検査（特色選抜）は、検査Ⅰ（国語、社会、英語）、検査Ⅱ（数学、理科、英語）の2部構成とし、5教科について実施した。

配点は、各教科40点満点で、学力検査の総点は、200点満点である。

問題作成に当たっては、中学校教育における平常の学習によって養われた力で解答できる問題となるようにした。学習指導要領に示されている各教科の目標・内容を踏まえて、基礎的・基本的な知識・技能の定着の程度をみる問題が中心になるように配慮した。

5教科総合の平均点は、100点満点に換算して、62.9点であった。

平成 2 3 年 度

徳島県公立高等学校入学学力検査（特色選抜）成績表

受検者総数830名

	平均点 (40点満点)	100点満点換算
国 語	24.4	61.0
数 学	28.6	71.4
社 会	22.9	57.2
理 科	24.9	62.4
英 語	25.1	62.7
5教科総合	25.2	62.9